

MC FOREST 講演会

小笠原をアホウドリの 楽園の島に

一時は絶滅とまで報じられたアホウドリは、様々な保護活動により順調に個体数を回復しています。しかし現繁殖地は将来的な存続に不安があるため、過去に失われた小笠原諸島の繁殖地を復活させる取り組みが 2008 年にスタートしました。NHK の番組「ダーウィンが来た!～生き物新伝説～」でおなじみのこの取り組みが、どのような経緯で実施され、現在までにどのような成果が得られているのかを詳しくお話しします。



小笠原諸島聳島で生まれたアホウドリのヒナ (右)

2018年1月31日(水) 18:30～20:00

【会場】三菱商事 MC FOREST (東京都千代田区丸の内 2-3-1)

【対象】一般 【定員】40名(先着順) 【参加費】無料

【申込】MC FOREST のページで事前申込要

【主催】三菱商事株式会社 【共催】公益財団法人山階鳥類研究所 (<http://www.yamashina.or.jp/>)

【問合せ】山階鳥類研究所 (04-7182-1101)

お申し込みはインターネットで

MC FOREST

検索 🔍

講師 出口智広 (公財) 山階鳥類研究所 保全研究室 室長

1973年札幌市生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。博士(農学)。アホウドリ回復プロジェクト聳島リーダー。専門は行動生態学、海洋生態学。山階鳥類研究所に入所後は、アホウドリ回復のための国際チームのメンバーとして、小笠原への再導入計画を担当。その他に、気候変動が鳥の生活史に及ぼす影響について研究をしている。主な著書は、「日本の希少鳥類を守る」(分担筆、京都大学学術出版会)、鳥類学(共訳、新樹社)、鳥の絶滅危惧種図鑑(共訳、緑書房)。



JR 線・東京メトロ丸ノ内線「東京」駅より徒歩3分
東京メトロ千代田線「二重橋前」駅より徒歩1分